

クロラントラニプロール(案)

今般の残留基準の検討については、農薬取締法に基づく適用拡大申請に伴う基準値設定依頼が農林水産省からなされたこと及び関連企業から「国外で使用される農薬等に係る残留基準の設定及び改正に関する指針について」に基づく残留基準の設定要請がなされたことに伴い、食品安全委員会において食品健康影響評価がなされたことを踏まえ、農薬・動物用医薬品部会において審議を行い、以下の報告を取りまとめるものである。

1. 概要

(1) 品目名：クロラントラニプロール [Chlorantraniliprole (ISO)]

(2) 用途：殺虫剤

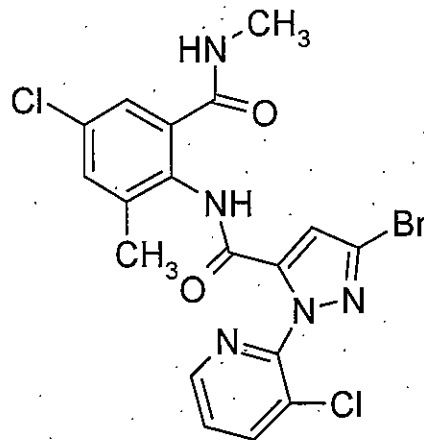
アントラニリックジアミド系殺虫剤である。鱗翅目、双翅目、鞘翅目及び半翅目昆虫の筋小胞体膜のカルシウムチャンネル（リアノジン受容体）に作用してカルシウムイオンを放出させ、筋収縮を起こすことにより殺虫効果を示すものと考えられている。

(3) 化学名

3-bromo-*N*-[4-chloro-2-methyl-6-(methylcarbamoyl)phenyl]-
1-(3-chloropyridin-2-yl)-1*H*-pyrazole-5-carboxamide (IUPAC)

3-bromo-*N*-[4-chloro-2-methyl-6-[(methylamino) carbonyl]phenyl]-
1-(3-chloro-2-pyridinyl)-1*H*-pyrazole-5-carboxamide (CAS)

(4) 構造式及び物性



分子式	$C_{18}H_{14}BrCl_2N_5O_2$
分子量	483.15
水溶解度	1.023 mg/L (20°C)
分配係数	$\log_{10}Pow = 2.76$ (20°C)

(メーカー提出資料より)

2. 適用の範囲及び使用方法

本剤の適用の範囲及び使用法は以下のとおり。

作物名となっているものについては、今回農薬取締法（昭和23年法律第32号）に基づく適用拡大申請がなされたものを示している。

また、みかん、ベリー類、ひまわり（種子）、べにばな（種子）及びなたねに係る残留基準の設定についてインポートトレランス申請がされている。

(1) 国内での使用方法

①5%クロラントラニリプロールフロアブル

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロラントラニプロールを含む農薬の総使用回数
キャベツ	コガ アオムシ	500倍	苗地床1㎡当たり2L	育苗期後半～定植当日	1回	灌注	4回以内 (定植時までの処理は1回以内、 散布は3回以内)
	コガ アオムシ ヨトウムシ ハスモンヨトウ ハイマダラノメカイ	100倍	セル成型育苗トレイ1箱又はパターポット1冊 (約30×60cm、 使用土壌 約1.5～4L) 当たり0.5L				
	ウバ類 オタバコガ	2000倍	100～300L/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	
はくさい	コガ アオムシ ヨトウムシ ハイマダラノメカイ	100倍	セル成型育苗トレイ1箱又はパターポット1冊 (約30×60cm、 使用土壌 約1.5～4L) 当たり0.5L	育苗期後半～定植当日	1回	灌注	4回以内 (定植時までの処理は1回以内、 散布は3回以内)
	ハスモンヨトウ	2000倍	100～300L/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	
レタス	ナメグリバエ ハスモンヨトウ オタバコガ カブラヤガ ヨトウムシ ヒメフタテンヨコバイ	100倍	セル成型育苗トレイ1箱又はパターポット1冊 (約30×60cm、 使用土壌 約1.5～4L) 当たり0.5L	育苗期後半～定植当日	1回	灌注	4回以内 (灌注は1回以内、 散布は3回以内)
	ナメグリバエ	1000～2000倍	100～300L/10a	収穫 3日前まで	3回以内	散布	
	ハスモンヨトウ オタバコガ ヨトウムシ	2000倍					

①5%クロラントラニリプロールフロアブル(つづき)

作物名	適用 病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	クロラントラニ ール を含む農薬の 総使用回数
非結球 レタス	ハモグリバエ ハスモンヨトウ オオタバコガ ヨウムシ	2000倍	100～300L/10a	収穫前日 まで	2回以内	散布	2回以内
	コカ アオムシ ハスモンヨトウ	100倍	セル成型育苗トレイ 1箱又はペーパー ポット1冊 (約30×60cm、 使用土壌 約1.5～4L) 当たり0.5L	育苗期後半 ～定植当日	1回	灌注	
ブロッコリー	ハマダラメカイ	2000倍	100～300L/10a	収穫前日 まで	3回以内	散布	4回以内 (灌注は1回以内、 散布は3回以内)
	トマトハモグリバエ	100倍	1株当たり25mL	育苗期後半 ～定植当日	1回	灌注	
トマト	トマトハモグリバエ	1000～ 2000倍	100～300L/10a	収穫前日 まで	3回以内	散布	
	オオタバコガ	2000倍					
ミニトマト	トマトハモグリバエ	100倍	1株当たり25mL	育苗期後半 ～定植当日	1回	灌注	
	オオタバコガ	2000倍	100～300L/10a	収穫前日 まで	3回以内	散布	
きゅうり	トマトハモグリバエ	100～ 200倍	1株当たり25mL	育苗期後半 ～定植当日	1回	灌注	
	ウリノメイガ	1000～ 2000倍	100～300L/10a	収穫前日 まで	3回以内	散布	
		2000倍					
なす	カブラヤカ ハスモンヨトウ	100倍	1株当たり25mL	育苗期後半 ～定植当日	1回	灌注	
	ハモグリバエ類	1000～ 2000倍	100～300L/10a	収穫前日 まで	2回以内	散布	
	ハスモンヨトウ オオタバコガ	2000倍					
いちご	ハスモンヨトウ	2000倍					
ねぎ	シロイモジヨトウ			収穫 3日前まで	3回以内		
だいず	ハスモンヨトウ	16～ 32倍	0.8L/10a	収穫 7日前まで	2回以内	無人ヘリ コプター による 散布	2回以内
えだまめ		4000倍	100～300L/10a	収穫 3日前まで	3回以内	散布	3回以内

①5%クロラントラニリプロールフロアブル (つづき)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロラントラニリプロールを含む農薬の総使用回数	
だいこん	アオムシ コガ ハイダゲラノメイガ	2000倍	100~300L/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内	
かぶ	コガ							
カリフラワー	コガ アオムシ ハスモンヨトウ			収穫前日まで	3回以内		3回以内	
こまつな みずな チンゲンサイ	コガ			2回以内	2回以内			
さやいんげん	ハモグリバエ類	2000~ 4000倍	100~300L/10a	収穫前日まで	3回以内		散布	3回以内
さやえんどう	ハスモンヨトウ							
やまのいも								
さといも								
かんしょ								

②10%クロラントラニリプロールフロアブル

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロラントラニリプロールを含む農薬の総使用回数	
茶	チャノコカクモンハマキ チャハマキ ヨモギエダシヤク	2000倍	200~ 400L/10a	摘採 3日前まで	1回	散布	1回	
	チャノホソガ	2000~ 4000倍						
りんご	シクイムシ類 ハマキムシ類 キンモンホソガ キンモンハモグリガ ケムシ類	2500~ 5000倍	200~ 700L/10a	収穫 前日まで	3回以内		散布	3回以内
	ヨモギエダシヤク	5000倍						
ぶどう	チャノコカクモンハマキ モンキクロノメイガ							
おうとう	ケムシ類 ハマキムシ類 サトウシヨウジヨウバエ	2500倍						

② 10%クロラントラニリプロールフロアブル (つづき)

作物名	適用 病害虫名	希釈 倍数	使用 液量	使用 時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	クロラントラニリプロール を含む農薬の 総使用回数
すもも	シクイムシ類	2500倍	200～ 700L/10a	収穫 3日前まで	3回以内	散布	3回以内
なし	ケムシ類	2500～ 5000倍		収穫 前日まで			
	シクイムシ類 ハマキムシ類	5000倍			2回以内		2回以内
もも	シクイムシ類 モモハダカ						
初刈り				収穫 3日前まで			
かき	ヒメアオイトガ	収穫前日 まで		3回以内	3回以内		
あんず	アメリカシロヒトリ	2500倍					収穫 3日前まで

③ 1%クロラントラニリプロール粒剤

作物名	適用 病害虫名	使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	クロラントラニリプロール を含む農薬の 総使用回数
稲 (箱育苗)	コブメイト	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5L) 1箱当たり50g	移植当日	1回	育苗箱の上から 均一に散布する	1回

(2) 海外での使用方法

① 18.4%クロラントラニリプロールフロアブル (米国)

作物名	1 回当たりの 使用量	本剤の 使用回数	栽培期間中 の総使用量	使用時期	使用方法
アティョーク	0.045-0.098 lb ai/A	4 回以内	0.2 lbs ai/A	収穫 3 日前まで	散布
アスパラガス				収穫前日まで	
あぶらな属 野菜	0.045-0.065 lb ai /A	4 回以内 (滴下処理は 2 回以 内、ただし既に植付 時土壌処理を行って いる場合は 1 回以内)		収穫 3 日前まで	植付時土壌処理
	0.045-0.098 lb ai /A				滴下処理
とうもろこし	0.045-0.065 lb ai /A	4 回以内		収穫前日まで	散布
綿実	0.045-0.098 lb ai /A		収穫 21 日前まで		
うり科野菜	0.026-0.09 lb ai /A	4 回以内 (滴下処理は 2 回以 内、ただし既に植付 時土壌処理を行って いる場合は 1 回以内)	収穫前日まで	植付時土壌処理	
	0.045-0.098 lb ai /A			滴下処理	
	0.026-0.098 lb ai /A			散布	
果菜類	0.045-0.098 lb ai /A			植付時土壌処理	
		滴下処理			
ハーブ類	0.045-0.065 lb ai /A	4 回以内	0.2 lbs ai/A	収穫当日まで	散布
ホップ				収穫前日まで	
豆類				収穫 3 日前まで	
シト				収穫 14 日前まで	
ばれいしょ				収穫 21 日前まで	
オイルード					
スパイス類				収穫前日まで	
いちご					
さとうきび				収穫 14 日前まで	
根菜類				収穫前日まで	

ai:active ingredient (有効成分)

②35%クロラントラニリプロール顆粒水和剤 (米国)

作物名	1 回当たりの 使用量	本剤の 使用回数	栽培期間中の 総使用量	使用時期	使用方法
バナナ	0.066-0.099 lb ai /A	3 回以内	0.2 lbs ai /A	収穫前日まで	散布
ベリー類				収穫前日まで (caneberry は 収穫 3 日前まで)	
つる性果実類				収穫前日まで	
かんきつ類				収穫 7 日前まで	
コーヒー豆				収穫前日まで	
いちじく				収穫 14 日前まで	
ぶどう	0.044-0.099 lb ai /A	4 回以内		収穫前日まで	
オリーブ	0.066-0.099 lb ai /A	3 回以内		収穫 5 日前まで (mayhaw は収穫 14 日前まで)	
かき				収穫前日まで	
仁果類	0.055-0.099 lb ai /A	4 回以内		収穫 10 日前まで	
ざくろ	0.066-0.099 lb ai /A	3 回以内		収穫前日まで	
核果類				収穫 10 日前まで	
ナッツ類	0.044-0.099 lb ai /A	4 回以内	収穫前日まで (ただし、アロア、ジ ボチカバ、ライチ、パ イヤ、パッションフルーツは 収穫 10 日前まで)		
トロピカルフルーツ	0.066-0.099 lb ai /A	3 回以内			

③18.4%クロラントラニリプロールフロアブル (EU)

作物名	1 回当たりの 使用量	本剤の 使用回数	栽培期間中の総使用量	使用時期	使用方法
なす	85 g ai/ha	3 回以内	255 g ai/ha	収穫 2 日前 まで	散布
キャベツ	55~70 g/ha		210 g ai/ha		
ブロッコリー					
きゅうり	85 g/ha		255 g ai/ha		
ズッキーニ					
レタス					
メロン	70~85 g/ha				
ピーマン					
トマト	85 g/ha				

3. 作物残留試験結果

(1) 分析の概要

① 分析対象の化合物

クロラントラニリプロール

② 分析法の概要

試料からアセトニトリル・水 (4:1) 混液で抽出する。または、試料からアセトンで抽出し、酢酸エチルに転溶する。トリメチルアミノプロピルシリル化シリカゲル (SAX) 及びスチレンジビニルベンゼン共重合体 (PLS-2) カラム又はフロリジルカラム及びエチレンジアミン-*N*-プロピルシリル化シリカゲル (PSA) カラムで精製し、液体クロマトグラフ・質量分析計 (LC-MS) を用いて定量する。

または、試料からアセトンで抽出し、凝固法、フロリジルカラム及び PSA カラムで精製した後、LC-MS を用いて定量する。

あるいは、試料に水を加え、アセトニトリルで抽出する。SAX カラム及びジビニルベンゼン-*N*-ビニルピロリドン共重合体 (HLB) カラムを連結したカラムで精製し、液体クロマトグラフ・タンデム型質量分析計 (LC-MS/MS) を用いて定量する。

定量限界 0.01 ppm

(2) 作物残留試験結果

国内で実施された作物残留試験の結果の概要については別紙 1-1、海外で実施された作物残留試験の結果の概要については別紙 1-2 を参照。

4. 魚介類への推定残留量

本剤については水系を通じた魚介類への残留が想定されることから、農林水産省から魚介類に関する個別の残留基準の設定について要請されている。このため、本剤の水産動植物被害予測濃度^{注1)}及び生物濃縮係数 (BCF: Bioconcentration Factor) から、以下のとおり魚介類中の推定残留量を算出した。

(1) 水産動植物被害予測濃度

本剤が水田及び水田以外のいずれの場面においても使用されることから、水田 PECTier2^{注2)}及び非水田 PECTier1^{注3)}について算出したところ、水田 PECTier2 は 0.19 ppb、非水田 PECTier1 は 0.0044 ppb となったことから、水田 PECTier2 の 0.19 ppb を採用した。

(2) 生物濃縮係数

本剤はオクタノール水/分配係数 ($\log_{10}Pow$) が 2.76 であり、魚類濃縮性試験が実施されていないことから、BCF については実測値が得られていない。このため、 $\log_{10}Pow$ から、相関式 ($\log_{10}BCF=0.80 \times \log_{10}Pow-0.52$) を用いて 48.8 と算出された。

(3) 推定残留量

(1) 及び (2) の結果から、クロラントラニリプロールの水産動植物被害予測濃度: 0.19 ppb、BCF: 48.8 とし、下記のとおり推定残留量が算出された。

$$\text{推定残留量} = 0.19 \text{ ppb} \times (48.8 \times 5) = 0.04636 \text{ ppm} \approx 0.05 \text{ ppm}$$

注1)農薬取締法第3条第1項第6号に基づく水産動植物の被害防止にかかる農薬の登録保留基準設定における規定に準拠

注2)水田中や河川中での農薬の分解や土壌・底質への吸着、止水期間等を考慮して算出したもの。

注3)既定の地表流出率、ドリフト率で河川中に流入するものとして算出したもの。

(参考)：平成19年度厚生労働科学研究費補助金食品の安心・安全確保推進研究事業「食品中に残留する農薬等におけるリスク管理手法の精密化に関する研究」分担研究「魚介類への残留基準設定法」報告書

5. 畜産物への推定残留量

(1) 動物飼養試験 (家畜残留試験)

①乳牛における残留試験

乳牛に対して、クロラントラニプロールが飼料中濃度として1、3、10及び50 ppmに相当する量を含むゼラチンカプセルを28日間にわたり摂食させ、最終投与1日後の筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓に含まれるクロラントラニプロール含量を測定した。

(検出限界：筋肉：0.003 ppm、脂肪：0.004 ppm、肝臓：0.005 ppm、腎臓：0.003 ppm) また、乳については、牛乳を最終投与の1、3、5、7、10、14、21及び28日後に搾乳し、14及び21日後に採取した牛乳よりスキムミルク及びクリーム試料を調製し、クロラントラニプロールを測定した(定量限界：0.010 ppm)。結果については表1を参照。

表1. 組織中のクロラントラニプロールの最大残留 (ppm)

	1ppm 投与群	3ppm 投与群	10ppm 投与群	50ppm 投与群
筋肉	<0.003(最大) <0.003(平均)	0.004(最大) 0.003(平均)	0.009(最大) 0.007(平均)	0.029(最大) 0.019(平均)
脂肪	0.004(最大) 0.003(平均)	0.015(最大) 0.009(平均)	0.036(最大) 0.029(平均)	0.16(最大) 0.14(平均)
肝臓	0.005(最大) 0.004(平均)	0.014(最大) 0.010(平均)	0.035(最大) 0.029(平均)	0.13(最大) 0.13(平均)
腎臓	<0.003(最大) <0.003(平均)	0.009(最大) 0.006(平均)	0.035(最大) 0.022(平均)	0.081(最大) 0.068(平均)
牛乳	<0.003(平均)	<0.003(平均)	0.005(平均)	0.021(平均)
スキムミルク	<0.003(平均)	<0.003(平均)	0.003(平均)	0.016(平均)
クリーム		0.004(平均)	0.011(平均)	0.026(平均)

②産卵鶏における代謝試験結果

産卵鶏に対して[ben-¹⁴C]標識クロラントラニプロール及び[pyr-¹⁴C]標識クロラントラニプロールを1:1で混合したものを10mg/kg飼料/day相当で14日間連続カプセル経口投与し、筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓に含まれるクロラントラニプロール及び代謝物含量を測定した。また、鶏卵については、投与期間中に1日毎に採卵してクロラントラニプロール及び代謝物について測定した(定量限界：<0.001 ppm)。結果については表2を参照。

表 2. 組織中の代謝物 (μg/g)

成分	卵白	卵黄	肝臓	筋肉	腹腔内脂肪	皮膚・脂肪
クロラントラニプロール	0.409	0.106	0.017	<0.001	0.007	0.009
代謝物 A	0.033	ND	ND	ND	ND	ND
代謝物 B	ND	ND	0.021	ND	0.001	ND
代謝物 C	0.045	0.078	0.003	ND	ND	ND
代謝物 D	0.037	ND	0.009	<0.001	ND	ND
代謝物 E	0.046	0.112	0.011	<0.001	0.001	0.002
代謝物 F	0.027	ND	ND	<0.001	ND	0.003
代謝物 H	ND	ND	0.016	<0.001	<0.001	0.001
代謝物 M	0.119	ND	ND	ND	0.001	0.005
代謝物 N	0.421	0.020	ND	ND	0.002	0.001
代謝物 O	0.042	ND	ND	0.002	0.001	0.002

代謝物A: 3-Bromo-1-(3-chloro-2-pyridinyl)-1H-pyrazole-5-carboxylic acid

代謝物B: 2-[[[3-Bromo-1-(3-chloro-2-pyridinyl)-1H-pyrazol-5-yl]carbonyl]amino]-5-chloro-3-methylbenzoic acid

代謝物C: 3-Bromo-N-[4-chloro-2-[(hydroxymethyl)amino]carbonyl]-6-methylphenyl]-1-(3-chloro-2-pyridinyl)-1H-pyrazole-5-carboxamide

代謝物D: 3-Bromo-N-[4-chloro-2-(hydroxymethyl)-6-[(methylamino)carbonyl]phenyl]-1-(3-chloro-2-pyridinyl)-1H-pyrazole-5-carboxamide

代謝物E: 2-[3-Bromo-1-(3-chloro-2-pyridinyl)-1H-pyrazol-5-yl]-6-chloro-8-(hydroxymethyl)-4(3H)-quinazolinone

代謝物F: 2-[3-Bromo-1-(3-chloro-2-pyridinyl)-1H-pyrazol-5-yl]-6-chloro-8-(hydroxymethyl)-3-methyl-4(3H)-quinazolinone

代謝物H: N-[2-Aminocarbonyl]-4-chloro-6-(hydroxymethyl)phenyl]-3-bromo-1-(3-chloro-2-pyridinyl)-1H-pyrazole-5-carboxamide

代謝物M: N-[2-Aminocarbonyl]-4-chloro-6-methylphenyl]-3-bromo-1-(3-chloro-2-pyridinyl)-1-pyrazole-5-carboxamide

代謝物N: 2-[3-Bromo-1-(3-chloro-2-pyridinyl)-1H-pyrazol-5-yl]-6-chloro-3,8-methyl-4(3H)-quinazolinone

代謝物O: 2-[3-Bromo-1-(3-chloro-2-pyridinyl)-1H-pyrazol-5-yl]-6-chloro-3,8-dimethyl-4(3H)-quinazolinone

上記の結果に関連して、JMPRでは肉牛、乳牛及び家きんにおけるMTDB^{注)}はそれぞれ36.1ppm、28.6ppm及び1.8ppmと評価している。

また、米国及びカナダでは肉牛、乳牛及び家きんにおけるMTDBはそれぞれ8.6ppm、14.2ppm、0.012ppmと評価している。

注) 最大理論的飼料由来負荷 (Maximum Theoretical Dietary Burden: MTDB): 飼料として用いられる全ての飼料品目に残留基準まで残留していると仮定した場合に、飼料の摂取によって畜産動物が暴露される最大量。飼料中残留濃度として表示される。

(参考: Residue Chemistry Test Guidelines OPPTS 860.1480 Meat/Milk/Poultry/Eggs)

(2) 推定残留量

乳牛、肉牛及び産卵鶏について、MTDBと各試験における投与量から、畜産物中の推定残留量(最大値)を算出した。結果については表3-1及び3-2を参照。

表 3-1. 畜産物中の推定残留量；牛 (ppm)

	筋肉	脂肪	肝臓	腎臓	乳
乳牛	0.02	0.09	0.08	0.06	0.01
肉牛	0.02	0.12	0.10	0.07	
最大値	0.02	0.12	0.10	0.07	0.01

表 3-2. 畜産物中の推定残留量；鶏 (ppm)

	筋肉	脂肪	肝臓	腎臓	卵
産卵鶏	0.01	0.01	0.01	-	0.09

6. ADI の評価

食品安全基本法（平成 15 年法律第 48 号）第 24 条第 1 項第 1 号の規定に基づき、食品安全委員会あて意見を求めたクロラントラニリプロールに係る食品健康影響評価について、以下のとおり評価されている。

無毒性量：26.1 mg/kg 体重/day（発がん性は認められなかった。）

（動物種） マウス

（投与方法） 混餌

（試験の種類） 発がん性試験

（期間） 18 か月間

安全係数：100

ADI：0.26 mg/kg 体重/day

7. 諸外国における状況

2008 年に JMPR における毒性評価が行われ、ADI が設定されている。国際基準は穀類、葉菜類、果菜類、仁果類果実、核果類果実等に設定されている。

米国、カナダ、欧州連合（EU）、オーストラリア及びニュージーランドについて調査した結果、米国においてりんご、びわ等に、カナダにおいてりんご、あんず等に、EU においてりんご、ナッツ類等に、オーストラリアにおいてぶどう、レタス等に、ニュージーランドにおいてアボカド、ばれいしょ等に基準値が設定されている。

8. 基準値案

(1) 残留の規制対象

クロラントラニリプロールとする。

なお、食品安全委員会による食品健康影響評価においても、農産物、畜産物及び魚介類中の暴露評価対象物質としてクロラントラニリプロール（親化合物のみ）を設定している。

(2) 基準値案

別紙 2 のとおりである。

(3) 暴露評価

各食品について基準値案の上限までクロラントラニプロールが残留していると仮定した場合、国民栄養調査結果における各食品の平均摂取量に基づき試算される、1日当たり摂取する農薬の量のADIに対する比は、以下のとおりである。詳細な暴露評価は別紙3参照。

なお、本暴露評価は、各食品分類において、加工・調理による残留農薬の増減が全くないとの仮定の下に行った。

	TMDI/ADI (%) ^{注)}
国民平均	18.2
幼小児 (1~6歳)	31.6
妊婦	14.3
高齢者 (65歳以上)	20.0

注) TMDI 試算は、基準値案×各食品の平均摂取量の総和として計算している。

クロラントラニプロール作物残留試験一覧表

農作物	試験 回数を	試験条件				最大残留量 ^{注1)} (ppm) 【クロラントラニプロール】	
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
水稻 (玄米)	2	1%粒剤	50g/箱 育苗箱処理	1回	119日 137日	圃場A: <0.01 圃場B: <0.01	
だいず (乾燥子実)	2	5%フロアブル	4000倍散布 200L/10a	3回	7, 14, 21日	圃場A: 0.03 (3回、7日) (H) ^{注2)} 圃場B: <0.01 (3回、7日) (H)	
だいず (乾燥子実)	2	5%フロアブル	16倍無人ヘリコプター による散布: 0.8L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A: 0.01 圃場B: 0.01	
かんしょ (塊根)	2	5%フロアブル	2000倍散布 175, 180L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A: <0.01 圃場B: <0.01	
さといも (塊茎)	2	5%フロアブル	2000倍散布 166, 200L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A: <0.01 圃場B: <0.01	
やまのいも (塊茎)	2	5%フロアブル	2000倍散布 195, 200L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A: <0.01 圃場B: <0.01	
だいこん (根部)	2	5%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	3回	1, 3, 7, 14日 1, 3, 7, 15日	圃場A: <0.01 圃場B: <0.01	
だいこん (葉部)	2	5%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	3回	1, 3, 7, 14日 1, 3, 7, 15日	圃場A: 1.29 圃場B: 1.78	
かぶ (根部)	2	5%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	3回	1, 3, 7, 14日	圃場A: 0.02 (3回、14日) 圃場B: 0.03	
かぶ (葉部)	2	5%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	3回	1, 3, 7, 14日	圃場A: 3.21 圃場B: 3.36	
キャベツ (葉球)	2	5%フロアブル	100倍500mL/鉢外注 及び2000倍散布 200 L/10a	1+3回	3, 7, 14, 21日	圃場A: 0.12 (1+3回、7日) 圃場B: 0.12 (1+3回、3日)	
キャベツ (葉球)	2	5%フロアブル	100倍500mL/鉢外注 及び2000倍散布 250-300, 202 L/10a	1+3回	1, 3, 7, 14日	圃場A: 0.04 圃場B: 0.76	
キャベツ (葉球)	2	0.5%粒剤 +5%フロアブル	1g/株 植穴処理及び 2000倍散布 231, 281L/10a	1+3回	1, 3, 7, 14日	圃場A: 0.32 (1+3回、3日) (H) 圃場B: 0.36 (1+3回、1日) (H)	
はくさい (莖葉)	2	5%フロアブル	100倍500mL/鉢外注 及び2000倍散布 200 L/10a	1+3回	3, 7, 14, 21日	圃場A: 0.26 (1+3回、3日) 圃場B: 0.46 (1+3回、3日)	
はくさい (莖葉)	2	5%フロアブル	100倍500mL/鉢外注 及び2000倍散布 300 L/10a	1+3回	1, 3, 7, 14日	圃場A: 0.36 圃場B: 0.10 (1+3回、3日)	
はくさい (莖葉)	2	0.5%粒剤 +5%フロアブル	1g/株 植穴処理 2000倍散布 250, 278-292L/10a	1+3回	1, 3, 7, 14日	圃場A: 0.29 (1+3回、1日) (H) 圃場B: 2.00 (1+3回、1日) (H)	
こまつな (莖葉)	2	5%フロアブル	2000倍散布 150, 200L/10a	2回	1, 3, 7, 14, 21日	圃場A: 3.18 圃場B: 1.29	
みずな (莖葉)	2	5%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	1, 3, 7, 14, 21日	圃場A: 5.76 圃場B: 1.02	
チンゲンサイ (莖葉)	2	5%フロアブル	2000倍散布 180, 200L/10a	2回	1, 3, 7, 14, 21日	圃場A: 0.54 圃場B: 1.80	
ブロッコリー (花蕾)	2	5%フロアブル	100倍500mL/鉢外注 及び2000倍散布 200, 70~150L/10a	1+3回	3, 7, 14, 21日	圃場A: 0.20 (1+3回、3日) 圃場B: 0.10 (1+3回、3日)	
ブロッコリー (花蕾)	2	5%フロアブル	100倍500mL/鉢外注 及び1000倍散布 250, 300 L/10a	1+3回	1, 3, 7, 14日	圃場A: 0.65 (1+3回、1日) (H) 圃場B: 0.37 (1+3回、1日) (H)	
カリフラワー (花蕾)	2	5%フロアブル	2000倍散布 210, 300 L/10a	3回	1, 3, 7, 14日	圃場A: 0.26 (3回、3日) 圃場B: <0.01	
レタス (莖葉)	2	5%フロアブル	100倍500mL/鉢外注 及び1000倍散布 200 L/10a	1+3回	3, 7, 14, 21日	圃場A: 3.00 (1+3回、7日) 圃場B: 0.60	
リーフレタス (莖葉)	2	5%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	1, 3, 7, 14, 21日	圃場A: 1.83 圃場B: 6.70	
リーフレタス (莖葉)	2	5%フロアブル	100倍500mL/鉢外注 及び1000倍散布 150, 193, 3-L/10a	1+3回	1, 3, 7, 14日	圃場A: 6.98 (1+3回、1日) (H) 圃場B: 8.46 (1+3回、1日) (H)	
サラダ菜 (莖葉)	2	5%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	1, 3, 7, 14, 21日	圃場A: 2.40 (2回、3日) 圃場B: 2.31	
サラダ菜 (莖葉)	2	5%フロアブル	100倍500mL/鉢外注 及び1000倍散布 193, 3, 200 L/10a	1+3回	1, 3, 7, 14日	圃場A: 5.82 (1+3回、1日) (H) 圃場B: 8.63 (1+3回、1日) (H)	
ねぎ (莖葉)	2	5%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	3回	3, 7, 14, 21日	圃場A: 0.21 圃場B: 0.66	
トマト (果実)	2	5%フロアブル	100倍25mL/鉢外注 及び1000倍散布 200 L/10a	1+3回	1, 7, 14日	圃場A: 0.04 (1+3回、7日) 圃場B: 0.19	
ミニトマト (果実)	2	5%フロアブル	100倍25mL/鉢外注 及び2000倍散布 250 L/10a	1+3回	1, 3, 7, 14日	圃場A: 0.12 (1+3回、3日) 圃場B: 0.07	
なす (果実)	2	5%フロアブル	100倍25mL/鉢外注 及び1000倍散布 200 L/10a	1+2回	1, 7, 14日	圃場A: 0.06 圃場B: 0.26	

農作物	試験 圃場数	試験条件				最大残留量 ^{注1)} (ppm) 【クロラントラニプロール】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
きゅうり (果実)	2	5%フロアブル	100倍25mL/鉢 1注 及び1000倍散布 200, 300 L/10a	1+3回	1, 7, 14日	圃場A : 0.05 圃場B : 0.07
えだまめ (さや)	2	5%フロアブル	4000倍散布 150~200, 200L/10a	3回	3, 7, 14, 21日	圃場A : 0.14 圃場B : 0.32
さやえんどう (さや)	2	5%フロアブル	2000倍散布 181, 200L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A : 0.26 圃場B : 0.13
さやいんげん (さや)	2	5%フロアブル	2000倍散布 168-194, 183L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A : 0.19 圃場B : 0.14 (3回、7日)
りんご (果実)	2	10%フロアブル	2500倍散布 500, 600L/10a	3回	3, 7, 14, 21日	圃場A : 0.31 (3回、3日) 圃場B : 0.10 (3回、3日)
りんご (果実)	2	10%フロアブル	2500倍散布 450, 500L/10a	3回	1, 3, 7, 14日	圃場A : 0.37 圃場B : 0.18
なし (果実)	2	10%フロアブル	2500倍散布 400, 700L/10a	3回	3, 7, 14, 21日	圃場A : 0.16 (3回、3日) (#) 圃場B : 0.18 (3回、3日) (#)
なし (果実)	2	10%フロアブル	2500倍散布 500L/10a	3回	1, 3, 7, 14日	圃場A : 0.33 (3回、1日) (#) 圃場B : 0.17 (3回、1日) (#)
もも (果肉)	2	10%フロアブル	5000倍散布 400, 500L/10a	2回	3, 7, 14, 21日	圃場A : 0.02 (2回、3日) 圃場B : <0.01 (2回、3日)
もも (果肉)	2	10%フロアブル	5000倍散布 360, 400L/10a	3回	1, 3, 7, 14日	圃場A : <0.01 (3回、1日) (#) 圃場B : <0.01 (3回、1日) (#)
ネクタリン (果実)	2	10%フロアブル	5000倍散布 400L/10a	2回	3, 7, 14, 21日	圃場A : 0.11 圃場B : 0.08
すもも (果実)	2	10%フロアブル	2500倍散布 500L/10a	3回	3, 7, 14, 21日	圃場A : 0.04 (3回、14日) 圃場B : 0.08
おうとう (果実)	2	10%フロアブル	2500倍散布 500, 700L/10a	3回	3, 7, 14, 21日	圃場A : 0.38 圃場B : 0.23
おうとう (果実)	2	10%フロアブル	2500倍散布 417, 450L/10a	3回	3, 7, 14日	圃場A : 0.10 圃場B : 0.18
あんず (果実)	2	10%フロアブル	2500倍散布 400, 625L/10a	3回	3, 7, 14, 21日	圃場A : 0.62 圃場B : 0.32 (3回、14日)
ぶどう (果実)	2	10%フロアブル	5000倍散布 300, 500L/10a	3回	1, 3, 7, 14日	圃場A : 0.16 (3回、3日) 圃場B : 0.51 (3回、3日)
かき (果実)	2	10%フロアブル	5000倍散布 500L/10a	3回	1, 3, 7, 14日	圃場A : 0.07 圃場B : 0.07 (3回、7日)
いちご (果実)	2	5%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	1, 7, 14日	圃場A : 0.23 圃場B : 0.30
茶 (荒茶)	2	10%フロアブル	2000倍散布 400L/10a	1回	3, 7, 14, 21日	圃場A : 29.8 圃場B : 38.6
茶 (浸出液)	2	10%フロアブル	2000倍散布 400L/10a	1回	3, 7, 14, 21日	圃場A : 16.9 圃場B : 19.6

注1) 最大残留量：当該農薬の申請の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留量。（参考：平成10年8月7日付「残留農薬基準設定における暴露評価の精密化に係る意見書」）

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留量が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留量が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（ ）内に記載した。

注2) (#)：これらの作物残留試験は、申請の範囲内で試験が行われていない。なお、適用範囲内で実施されていない試験条件を斜体で示した。

注3) 今回、新たに提出された作物残留試験成績に網を付けて示している。

クロラントラニプロール海外作物残留試験一覧表

農作物	試験 圃場数	試験条件				最大残留量 ^(注1) (ppm) 【クロラントラニプロール】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
ぼれいしよ (塊茎)	1	35%顆粒水和剤	49 g ai/ha 散布	3回	0, 7, 14, 21, 28日	圃場A: <0.003(#)
ぼれいしよ (塊茎)	1	35%顆粒水和剤	50~52 g ai/ha 散布	3回	0, 7, 15, 21, 28日	圃場A: <0.003(#)
ぼれいしよ (塊茎)	1	35%顆粒水和剤	74~76 g ai/ha 散布	3回	0, 1, 3, 7, 14, 21日	圃場A: <0.003(#)
ぼれいしよ (塊茎)	1	35%顆粒水和剤	76 g ai/ha 散布	3回	0, 1, 3, 7, 14, 21日	圃場A: <0.003(#)
ぼれいしよ (塊茎)	1	35%顆粒水和剤	380 g ai/ha 散布	3回	14日	圃場A: <0.003(#) ^(注2)
ぼれいしよ (塊茎)	21	35%顆粒水和剤	73~78 g ai/ha 散布	3回	14日	圃場A: ND (<0.003) (#)
						圃場B: ND (<0.003) (#)
						圃場C: ND (<0.003) (#)
						圃場D: ND (<0.003) (#)
						圃場E: ND (<0.003) (#)
						圃場F: ND (<0.003) (#)
						圃場G: 0.004(#)
						圃場H: ND (<0.003) (#)
						圃場I: ND (<0.003) (#)
						圃場J: ND (<0.003) (#)
						圃場K: ND (<0.003) (#)
						圃場L: ND (<0.003) (#)
						圃場M: ND (<0.003) (#)
圃場N: ND (<0.003) (#)						
圃場O: ND (<0.003) (#)						
圃場P: ND (<0.003) (#)						
圃場Q: 0.003(#)						
圃場R: ND (<0.003) (#)						
圃場S: ND (<0.003) (#)						
圃場T: 0.003(#)						
圃場U: ND (<0.003) (#)						
圃場A: 0.003(#)						
圃場B: ND (<0.003) (#)						
圃場C: 0.004(#)						
圃場D: ND (<0.003) (#)						
キャベツ (外葉あり)	9	18.4%フロアブル	110~118 g ai/ha 散布	2回	3日	圃場A: 0.64(#)
						圃場B: 0.28(#)
						圃場C: 0.033(#)
						圃場D: 0.51(#)
						圃場E: 0.48(#)
						圃場F: 0.066(#)
						圃場G: 0.29(#)
						圃場H: 1.1(#)
						圃場I: 0.75(#)
						圃場J: 2.9
						圃場K: 2.2
キャベツ (外葉あり)	1	18.4%フロアブル	112~116 g ai/ha 散布	2回	4日	圃場A: 0.10(#)
キャベツ (外葉なし)	3	18.4%フロアブル	110~118 g ai/ha 散布	2回	3日	圃場A: 0.037(#) 圃場B: 0.078(#) 圃場C: 0.077(#)
ブロッコリー (花蕾)	1	18.4%フロアブル	113~114 g ai/ha 散布	2回	0, 1, 3, 7, 10日	圃場A: 0.67(2回、1日) (#)
ブロッコリー (花蕾)	8	18.4%フロアブル	109~116 g ai/ha 散布	2回	3日	圃場A: 0.32(#)
						圃場B: 0.30(#)
						圃場C: 0.40(#)
						圃場D: 0.38(#)
						圃場E: 0.32(#)
						圃場F: 0.41(#)
						圃場G: 0.35(#)
						圃場H: 0.12(#)
からしな (茎葉)	8	18.4%フロアブル	112~116 g ai/ha 散布	2回	3日	圃場A: 1.7(#)
						圃場B: 4.6(#)
						圃場C: 1.2(#)
						圃場D: 5.6(#)
						圃場E: 2.9(#)
						圃場F: 3.7(#)
						圃場G: 4.8(#)
						圃場H: 2.2(#)
レタス (茎葉) (外葉あり)	1	18.4%フロアブル	111~113 g ai/ha 散布	2回	0, 1, 3, 7, 10日	圃場A: 0.56(#)
レタス (茎葉) (外葉あり)	6	18.4%フロアブル	109~115 g ai/ha 散布	2回	1日	圃場A: 2.4(#)
						圃場B: 1.3(#)
						圃場C: 0.43(#)
						圃場D: 2.2(#)
						圃場E: 0.012(#)
						圃場F: 0.004(#)
レタス (茎葉) (外葉なし)	3	18.4%フロアブル	110~118 g ai/ha 散布	2回	1日	圃場A: 0.47(#)
						圃場B: 0.043(#)
						圃場C: 0.39(#)

農作物	試験 回数	試験条件			経過日数	最大残留量 ^(注1) (ppm) 【クロラントラニプロール】
		剤型	使用量・使用方法	回数		
リーフレタス (茎葉)	7	18.4%フロアブル	112~118 g ai/ha 散布	2回	1日	圃場A: 6.2(#) 圃場B: 3.2(#) 圃場C: 3.9(#) 圃場D: 4.5(#) 圃場E: 5.3(#) 圃場F: 4.0(#) 圃場G: 3.9(#)
セルリー (茎葉) (外葉あり)	7	18.4%フロアブル	112~118 g ai/ha 散布	2回	1日	圃場A: 0.99(#) 圃場B: 2.6(#) 圃場C: 2.1(#) 圃場D: 3.6(#) 圃場E: 2.1(#) 圃場F: 1.4(#) 圃場G: 3.6(#)
セルリー (茎葉) (外葉なし)	3	18.4%フロアブル	112~114 g ai/ha 散布	2回	1日	圃場A: 2.5(#) 圃場B: 0.25(#) 圃場C: 0.19(#)
ほうれんそう (茎葉)	1	18.4%フロアブル	110~113 g ai/ha 散布	2回	0, 1, 3, 7, 10日	圃場A: 3.7(#)
ほうれんそう (茎葉)	6	18.4%フロアブル	110~118 g ai/ha 散布	2回	1日	圃場B: 6.8(#) 圃場C: 8.6(#) 圃場D: 7.4(#) 圃場E: 5.6(#) 圃場F: 8.9(#) 圃場G: 7.3(#)
トマト (果実)	1	18.4%フロアブル	113 g ai/ha 散布	2回	0, 1, 3, 7, 10日	圃場A: 0.14(#)
トマト (果実)	19	18.4%フロアブル	106~120 g ai/ha g ai/ha 散布	2回	1日	圃場A: 0.071(#) 圃場B: 0.040(#) 圃場C: 0.018(#) 圃場D: 0.032(#) 圃場E: 0.040(#) 圃場F: 0.032(#) 圃場G: 0.18(#) 圃場H: 0.14(#) 圃場I: 0.092(#) 圃場J: 0.14(#) 圃場K: 0.14(#) 圃場L: 0.044(#) 圃場M: 0.059(#) 圃場N: 0.051(#) 圃場O: 0.061(#) 圃場P: 0.11(#) 圃場Q: 0.095(#) 圃場R: 0.10(#) 圃場S: 0.082(#)
ピーマン (果実)	11	18.4%フロアブル	105~119 g ai/ha 散布	2回	1日	圃場A: 0.11(#) 圃場B: 0.069(#) 圃場C: 0.024(#) 圃場D: 0.090(#) 圃場E: 0.013(#) 圃場F: 0.022(#) 圃場G: 0.019(#) 圃場H: 0.11(#) 圃場I: 0.13(#) 圃場J: 0.18(#) 圃場K: 0.14(#) 圃場A: 0.21(#) 圃場B: 0.019(#) 圃場C: 0.035(#) 圃場D: 0.066(#) 圃場E: 0.059(#) 圃場F: 0.41(#) 圃場G: 0.063(#) 圃場H: 0.13(#) 圃場I: 0.069(#)
とうがらし (果実)	8	18.4%フロアブル	109~119 g ai/ha 散布	2回	1日	圃場A: 0.022(#)
きゅうり (果実)	1	18.4%フロアブル	118~119 g ai/ha 散布	2回	0, 1, 3, 7, 10日	圃場A: 0.076(#) 圃場B: 0.011(#) 圃場C: 0.015(#) 圃場D: 0.006(#) 圃場E: 0.012(#) 圃場F: 0.076(#)
きゅうり (果実)	6	18.4%フロアブル	109~124 g ai/ha 散布	2回	1日	圃場A: 0.090(#) 圃場B: 0.027(#) 圃場C: 0.065(#) 圃場D: 0.10(#) 圃場E: 0.081(#) 圃場F: 0.052(#)
カンタローブ (果実)	6	18.4%フロアブル	110~121 g ai/ha 散布	2回	1日	圃場A: 0.010(#)
マスクメロン (果実)	1	18.4%フロアブル	113~114 g ai/ha 散布	2回	1日	圃場A: 0.017(#) 圃場B: 0.081(#) 圃場C: 0.023(#) 圃場D: 0.054(#) 圃場E: 0.076(#) 圃場F: 0.040(#)
ペポカボチャ (果実)	6	18.4%フロアブル	108~121 g ai/ha 散布	2回	1日	圃場A: 0.13(#)
りんご (果実)	1	35%顆粒水和剤	112 g ai/ha 散布	2回	0, 7, 14, 21, 28日	圃場A: 0.13(#)

農作物	試験 回数	試験条件				最大残留量 ^(注1) (ppm) 【クロロントラニプロール】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
りんご (果実)	13	35%顆粒水和剤	111~118 g ai/ha 散布	2回	14日	圃場A: 0.022(#) 圃場B: 0.056(#) 圃場C: 0.11(#) 圃場D: 0.074(#) 圃場E: 0.038(#) 圃場F: 0.010(#) 圃場G: 0.012(#) 圃場H: 0.088(#) 圃場I: 0.045(#) 圃場J: 0.093(#) 圃場K: 0.061(#) 圃場L: 0.23(#) 圃場M: 0.078(#)
りんご (果実)	3	35%顆粒水和剤	109~113 g ai/ha 散布	2回	15日	圃場A: 0.073(#) 圃場B: 0.072(#) 圃場C: 0.030(#)
なし (果実)	1	35%顆粒水和剤	113~115 g ai/ha 散布	2回	10日	圃場A: 0.054(#)
なし (果実)	3	35%顆粒水和剤	112 g ai/ha 散布	2回	13日	圃場A: 0.033(#) 圃場B: 0.059(#) 圃場C: 0.085(#)
なし (果実)	7	35%顆粒水和剤	112~113 g ai/ha 散布	2回	14日	圃場A: 0.026(#) 圃場B: 0.070(#) 圃場C: 0.10(#) 圃場D: 0.016(#) 圃場E: 0.12(#) 圃場F: 0.13(#) 圃場G: 0.070(#)
もも (果実)	1	35%顆粒水和剤	116.13~115.71 g ai/ha 散布	2回	↓ 3, 8, 10, 14日	圃場A: 0.158(#)
もも (果実)	1	35%顆粒水和剤	111.69~112.42 g ai/ha 散布	2回	↓ 3, 8, 11, 15日	圃場A: 0.318(#)
もも (果実)	2	35%顆粒水和剤	110.69~112.34 g ai/ha 散布	2回	9日	圃場A: 0.0720(#) 圃場B: 0.125(#) 圃場C: 0.247(#) 圃場D: 0.144(#) 圃場E: 0.132(#) 圃場F: 0.165(#) 圃場G: 0.0639(#) 圃場H: 0.0916(#) 圃場I: 0.101(#) 圃場J: 0.0827(#) 圃場K: 0.122(#)
もも (果実)	9	35%顆粒水和剤	111.37~113.65 g ai/ha 散布	2回	10日	圃場A: 0.106(#) 圃場B: 0.891(#) 圃場C: 0.142(#)
もも (果実)	3	35%顆粒水和剤	112.42~115.47 g ai/ha 散布 野菜オイル加用	2回	10日	圃場A: 0.114(#) 圃場B: 0.132(#) 圃場C: 0.101(#)
もも (果実)	3	35%顆粒水和剤	110.35~115.85 g ai/ha 散布 非イオン系展着剤加用	2回	10日	圃場A: 0.0897(#) 圃場B: 0.105(#) 圃場C: 0.309(#) 圃場D: 0.183(#)
もも (果実)	4	35%顆粒水和剤	109.77~115.87 g ai/ha 散布	2回	11日	
すもも (果実)	1	35%顆粒水和剤	111~112 g ai/ha 散布	2回	0, 5, 10, 14, 21日	圃場A: 0.004(2回、10日)(#)
すもも (果実)	10	35%顆粒水和剤	105~112g ai/ha 散布	2回	10日	圃場A: 0.026(#) 圃場B: 0.017(#) 圃場C: 0.067(#) 圃場D: 0.066(#) 圃場E: 0.006(#) 圃場F: 0.015(#) 圃場G: 0.006(#) 圃場H: 0.007(#) 圃場I: 0.007(#) 圃場J: 0.009(#) 圃場K: 0.011(#) 圃場L: 0.022(#) 圃場M: 0.049(#)
すもも (果実)	3	35%顆粒水和剤	108~111 g ai/ha 散布 野菜オイル加用	2回	10日	圃場A: 0.011(#) 圃場B: 0.029(#) 圃場C: 0.076(#)
すもも (果実)	3	35%顆粒水和剤	112~118 g ai/ha 散布 非イオン系展着剤加用	2回	10日	圃場A: 0.11(#) 圃場B: 0.18(#)
おうとう (果実)	2	35%顆粒水和剤	112 g ai/ha 散布	2回	9日	圃場A: 0.26(#) 圃場B: 0.10(#) 圃場C: 0.056(#) 圃場D: 0.36(#) 圃場E: 0.21(#) 圃場F: 0.45(#)
おうとう (果実)	6	35%顆粒水和剤	111~112 g ai/ha 散布	2回	10日	圃場A: 0.15(#) 圃場B: 0.48(#)
おうとう (果実)	2	35%顆粒水和剤	112 g ai/ha 散布	2回	10日	圃場A: 0.19(#) 圃場B: 0.57(#)
おうとう (果実)	2	35%顆粒水和剤	112 g ai/ha 散布	2回	10日	
おどろ (果実)	1	35%顆粒水和剤	115.60~118.95 g ai/ha 散布	2回	↓ 2, 7, 13, 23日	圃場A: 0.0403(#)

農作物	試験 回数	試験条件				最大残留量 ^(※1) (ppm) 【クロラントラニプロール】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
ぶどう (果実)	1	35%顆粒水和剤	111.85~112.01 g ai/ha 散布	2回	1, 4, 7, 15, 20日	圃場A: 0.429 (#)
ぶどう (果実)	2	35%顆粒水和剤	111.08~115.15 g ai/ha 散布	2回	13日	圃場A: 0.522 (#) 圃場B: 0.199 (#)
ぶどう (果実)	10	35%顆粒水和剤	108.82~114.80 g ai/ha 散布		14日	圃場A: 0.0826 (#) 圃場B: 0.0415 (#) 圃場C: 0.0933 (#) 圃場D: 0.175 (#) 圃場E: 0.335 (#) 圃場F: 0.257 (#) 圃場G: 0.108 (#) 圃場H: 0.0440 (#) 圃場I: 0.0426 (#) 圃場J: 0.0364 (#)
ぶどう (果実)	2	35%顆粒水和剤	111.69~114.06 g ai/ha 散布	2回	14日	圃場A: 0.0442 (#) 圃場B: 0.0445 (#)
ぶどう (果実)	2	35%顆粒水和剤	112.25~114.86 g ai/ha 散布	2回	14日	圃場A: 0.0909 (#) 圃場B: 0.0408 (#)
ぶどう (果実)	3	35%顆粒水和剤	107.90~114.01 g ai/ha 散布	2回	15日	圃場A: 0.477 (#) 圃場B: 0.119 (#) 圃場C: 0.189 (#)
ぶどう (果実)	1	35%顆粒水和剤	108.12~108.26 g ai/ha 散布	2回	15日	圃場A: 0.371 (#)
ぶどう (果実)	1	35%顆粒水和剤	107.90~108.35 g ai/ha 散布 野菜オイル加用 非イオン系展着剤加用	2回	15日	圃場A: 0.461 (#)
綿実 (種子)	1	35%顆粒水和剤	110~118 g ai/ha 散布	2回	0, 7, 14, 21, 28日	圃場A: 0.078 (#)
綿実 (種子)	1	35%顆粒水和剤	110~112 g ai/ha 散布	2回	0, 6, 14, 20, 25日	圃場A: 0.34 (2回、6日) (#)
綿実 (種子)	1	35%顆粒水和剤	112 g ai/ha 散布	2回	20日	圃場A: 0.016 (#)
綿実 (種子)	7	35%顆粒水和剤	109~114 g ai/ha 散布	2回	21日	圃場A: 0.022 (#) 圃場B: 0.029 (#) 圃場C: 0.047 (#) 圃場D: 0.082 (#) 圃場E: 0.049 (#) 圃場F: 0.13 (#) 圃場G: 0.083 (#)
綿実 (種子)	3	35%顆粒水和剤	110~114 g ai/ha 散布	2回	22日	圃場A: 0.031 (#) 圃場B: 0.054 (#) 圃場C: 0.081 (#)
綿実 (種子)	1	35%顆粒水和剤	112~113 g ai/ha 散布	2回	23日	圃場A: 0.006 (#)
綿実 (綿花残渣)	5	35%顆粒水和剤	109~113 g ai/ha 散布	2回	21日	圃場A: 12 (#) 圃場B: 6.4 (#) 圃場C: 3.3 (#) 圃場D: 4.1 (#) 圃場E: 2.4 (#)
綿実 (綿花残渣)	2	35%顆粒水和剤	110~114 g ai/ha 散布	2回	22日	圃場A: 1.1 (#) 圃場B: 13 (#)
グリーンピース (さや)	5	35%顆粒水和剤	59.66~60.52 g ai/ha 散布	2回	0, 1, 7, 14, 21日	圃場A: 0.11 (2回、1日) (#) 圃場B: 0.13 (2回、1日) (#) 圃場C: 0.19 (#) 圃場D: 0.15 (2回、1日) (#) 圃場E: 0.13 (2回、1日) (#)
グリーンピース (さや)	4	35%顆粒水和剤	57.72~61.59 g ai/ha 散布	2回	1日	圃場A: 0.11 (#) 圃場B: 0.081 (#) 圃場C: 0.11 (#) 圃場D: 0.30 (#)
グリーンピース (さや)	6	35%顆粒水和剤	38.86~40.91 g ai/ha 散布	2回	1, 3日	圃場A: 0.088 (#) 圃場B: 0.25 (#) 圃場C: 0.093 (#) 圃場D: 0.16 (#) 圃場E: 0.19 (#) 圃場F: 0.024 (#)
グリーンピース (さや)	4	35%顆粒水和剤	38.12~40.86 g ai/ha 散布	2回	1日	圃場A: 0.055 (#) 圃場B: 0.031 (#) 圃場C: 0.12 (#) 圃場D: 0.083 (#)
とうもろこし (穀粒)	1	18.4%フロアブル	110~112 g ai/ha 散布	2回	13日	圃場A: ND (<0.003) (#)
とうもろこし (穀粒)	1	18.4%フロアブル	559~567 g ai/ha 散布	2回	13日	圃場A: ND (<0.003) (#)
とうもろこし (穀粒)	4	18.4%フロアブル	105~112 g ai/ha 散布	2回	14日	圃場A: ND (<0.003) (#) 圃場B: ND (<0.003) (#) 圃場C: ND (<0.003) (#) 圃場D: ND (<0.003) (#)
とうもろこし (穀粒)	2	18.4%フロアブル	108~116 g ai/ha 散布	2回	15日	圃場A: 0.005 (#) 圃場B: 0.009 (#)
とうもろこし (穀粒)	1	18.4%フロアブル	554~567 g ai/ha 散布	2回	15日	圃場A: ND (<0.003) (#)
とうもろこし (穀粒)	2	18.4%フロアブル	0.100~0.109 lb ai/A 散布	4回	13日	圃場A: <0.010 (#) 圃場B: <0.010 (#)

農作物	試験圃数	試験条件				最大残留量 ^{註1)} (ppm) 【クロラントラニプロール】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
とうもろこし (穀粒)	10	18.4%フロアブル	0.095~0.109 lb ai/A 散布	4回	14日	圃場A: <0.010 (#) 圃場B: <0.010 (#) 圃場C: <0.010 (#) 圃場D: <0.010 (#) 圃場E: <0.010 (#) 圃場F: <0.010 (#) 圃場G: <0.010 (#) 圃場H: <0.010 (#) 圃場I: <0.010 (#) 圃場J: <0.010 (#)
とうもろこし (穀粒)	1	18.4%フロアブル	0.099~0.103 lb ai/A 散布	4回	15日	圃場A: <0.010 (#)
とうもろこし (穀粒)	1	18.4%フロアブル	0.101 lb ai/A 散布	5回	14日	圃場A: <0.010 (#)
とうもろこし (茎葉)	14	18.4%フロアブル	0.098~0.104 lb ai/A 散布	2回	13日	圃場A: 5.4 (#) 圃場B: 5.315 (#) 圃場C: 2.615 (#) 圃場D: 0.69 (#) 圃場E: 12.04 (#) 圃場F: 3.635 (#) 圃場G: 3.955 (#) 圃場H: 0.824 (#) 圃場I: 2.085 (#) 圃場J: 2.075 (#) 圃場K: 7.69 (#) 圃場L: 4.52 (#) 圃場M: 7.1 (#)
					14日	圃場N: 2.36 (#)
					15日	圃場A: 1.7 (#)
とうもろこし (茎葉)	7	18.4%フロアブル	0.094~0.104 lb ai/A 散布	2回	13日	圃場A: 3.1 (#) 圃場B: 3.1 (#) 圃場C: 3.1 (#) 圃場D: 2.8 (#) 圃場E: 3.7 (#)
					14日	圃場F: 2.2 (#)
					15日	圃場G: 3.8 (#)
稲 (穀粒)	1	51.85%フロアブル	550 g ai/ha 土壌処理	2回	113日	圃場A: 0.063 (#)
稲 (穀粒)	1	51.85%フロアブル	560 g ai/ha 散布	2回	116日	圃場A: 0.040 (#)
稲 (穀粒)	1	51.85%フロアブル	560 g ai/ha 土壌処理	2回	117日	圃場A: 0.057 (#)
稲 (穀粒)	1	51.85%フロアブル	561 g ai/ha 散布	2回	120日	圃場A: 0.010 (#)
稲 (穀粒)	1	51.85%フロアブル	546 g ai/ha 土壌処理	2回	120日	圃場A: 0.049 (#)
稲 (穀粒)	1	51.85%フロアブル	1077 g ai/ha 土壌処理	2回	120日	圃場A: 0.037 (#)
稲 (穀粒)	4	51.85%フロアブル	560 g ai/ha 散布	2回	122日	圃場A: 0.051 (#) 圃場B: 0.050 (#) 圃場C: 0.072 (#) 圃場D: 0.087 (#)
稲 (穀粒)	1	51.85%フロアブル	560 g ai/ha 土壌処理	2回	123日	圃場A: 0.029 (#)
稲 (穀粒)	1	51.85%フロアブル	560 g ai/ha 土壌処理	2回	127日	圃場A: 0.052 (#)
稲 (穀粒)	1	51.85%フロアブル	560 g ai/ha 土壌処理	2回	130日	圃場A: 0.028 (#)
稲 (穀粒)	1	51.85%フロアブル	561 g ai/ha 土壌処理	2回	134日	圃場A: 0.030 (#)
稲 (穀粒)	1	51.85%フロアブル	561 g ai/ha 土壌処理	2回	138日	圃場A: 0.046 (#)
稲 (穀粒)	1	51.85%フロアブル	561 g ai/ha 散布	2回	143日	圃場A: 0.033 (#)
稲 (穀粒)	1	51.85%フロアブル	561 g ai/ha 土壌処理	2回	148日	圃場A: 0.031 (#)
稲 (穀粒)	1	51.85%フロアブル	1121 g ai/ha 土壌処理	2回	148日	圃場A: 0.048 (#)
Polebeans (さや)	1	5%フロアブル	20 g ai/ha 散布	6回	0, 1, 3, 7, 14日	圃場A: 3.080 (#)
Polebeans (さや)	1	5%フロアブル	40 g ai/ha 散布	6回	0, 1, 3, 7, 14日	圃場A: 11.036 (#)
ブラックベリー (果実)	2	35%顆粒水和剤	0.097~0.100 lb ai/Acre 散布	2回	3日	圃場A: 0.049 (#) 圃場B: 0.436 (#)
ラズベリー (果実)	1	35%顆粒水和剤	0.099~0.103 lb ai/Acre 散布	2回	1, 3, 7, 10日	圃場A: 0.0902 (#)
ラズベリー (果実)	5	35%顆粒水和剤	0.100~0.105 lb ai/Acre 散布	2回	3日	圃場A: 0.235 (#) 圃場B: 0.461 (#) 圃場C: 0.482 (#) 圃場D: 0.513 (#) 圃場E: 0.095 (#)

農作物	試験 圃場数	試験条件				最大残留量 ^{注1)} (ppm) 【クロロントラニプロール】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
ブルーベリー (果実)	9	35%顆粒水和剤	0.198~0.212 lb ai/A 散布	2回	1日	圃場A: 0.176 (#) 圃場B: 0.122 (#) 圃場C: 0.163 (#) 圃場D: 0.108 (#) 圃場E: 0.206 (#) 圃場G: 0.132 (#) 圃場G: 0.749 (#) 圃場H: 0.840 (#) 圃場I: 0.181 (#)
ブルーベリー (果実)	1	35%顆粒水和剤	0.198~0.212 lb ai/A 散布	2回	1, 3, 6, 13日	圃場A: 0.234 (#)
ブルーベリー (果実)	1	35%顆粒水和剤	0.198~0.212 lb ai/A 散布	2回	1, 3, 8, 14日	圃場A: 0.460 (#)
ミント (茎葉)	5	35%顆粒水和剤	0.097~0.103 lb ai/A 散布	2回	3日	圃場A: 4.61 (#) 圃場B: 4.64 (#) 圃場C: 5.68 (#) 圃場D: 5.33 (#) 圃場E: 2.22 (#)
コーヒー豆 (豆)	2	35%顆粒水和剤	52.5 g ai/ha 散布	3回	7, 21日	圃場A: 0.098 (#) 圃場B: 0.115 (#)
コーヒー豆 (豆)	2	35%顆粒水和剤	52.5 g ai/ha 散布	3回	1, 3, 7, 14, 21日	圃場A: 0.188 (#) 圃場B: 0.205 (#)
アーモンド (可食部)	5	35%顆粒水和剤	111~114 g ai/ha 散布	2回	10日	圃場A: 0.006 (#) 圃場B: 0.007 (#) 圃場C: 0.004 (#) 圃場D: 0.006 (#) 圃場E: 0.004 (#)
アーモンド (可食部)	1	35%顆粒水和剤	111~112 g ai/ha 散布	2回	11日	圃場A: 0.008 (#)
ペカン (可食部)	1	35%顆粒水和剤	112~113 g ai/ha 散布	2回	9日	圃場A: 0.015 (#)
ペカン (可食部)	5	35%顆粒水和剤	112~114 g ai/ha 散布	2回	10日	圃場A: 0.003 (#) 圃場B: 0.003 (#) 圃場C: 0.007 (#) 圃場D: 0.014 (#) 圃場E: 0.009 (#)
アルファルファ (茎葉)	1	18.4%フロアブル	110 g ai/ha g ai/ha 散布	2回	0, 7, 14日	圃場A: 7.9(2回、14日) (#)
アルファルファ (茎葉)	2	18.4%フロアブル	111~118 g ai/ha 散布	2回	0日	圃場A: 7.6 (#) 圃場B: 6.2 (#)
アルファルファ (茎葉)	12	18.4%フロアブル	108~116 g ai/ha 散布	3回	0日	圃場A: 5.9 (#) 圃場B: 7.6 (#) 圃場C: 5.2 (#) 圃場D: 11 (#) 圃場E: 6.3 (#) 圃場F: 7.5 (#) 圃場G: 3.7 (#) 圃場H: 3.0 (#) 圃場I: 2.0 (#) 圃場J: 6.8 (#) 圃場K: 7.8 (#) 圃場L: 5.7 (#) 圃場A: 1.7 (#) 圃場B: 0.46 (#) 圃場C: 0.26 (#)
アルファルファ (種子)	10	18.4%フロアブル	108~116 g ai/ha 散布	3回	0日	圃場D: 0.45 (#) 圃場E: 0.11 (#) 圃場F: 0.73 (#) 圃場G: 0.32 (#) 圃場H: 0.87 (#) 圃場I: 0.49 (#) 圃場J: 1.5 (#)
なたね (種子)	6	18.4%フロアブル	219~231 g ai/ha 散布	1回	1日	圃場A: 1.0 (#) 圃場B: 0.83 (#) 圃場C: 0.14 (#) 圃場D: 0.25 (#) 圃場E: 0.34 (#) 圃場F: 0.23 (#)
ひまわり (種子)	6	18.4%フロアブル	219~230 g ai/ha 散布	1回	1日	圃場A: 0.79 (#) 圃場B: 0.12 (#) 圃場C: 0.21 (#) 圃場D: 0.030 (#) 圃場E: 0.82 (#) 圃場F: 0.16 (#)

注1) 最大残留量: 当該農薬の申請の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験 (いわゆる最大使用条件下の作物残留試験) を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留量。(参考: 平成10年8月7日付「残留農薬基準設定における暴露評価の精密化に係る意見具申」)

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留量が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留量が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について () 内に記載した。

注2) (#)印で示した作物残留試験成績は、申請の範囲内で試験が行われていない。なお、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

注3) 今回、新たに提出された作物残留試験成績に網を付けて示している。

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm	
米(玄米をいう。)	0.05	0.05	○			<0.01,<0.01
小麦	0.02	0.02		0.02		
大麦	0.02	0.02		0.02		
ライ麦	0.02	0.02		0.02		
とうもろこし	0.6	0.6		0.6		
そば	0.02	0.02		0.02		
その他の穀類	0.02	0.02		0.02		
大豆	0.2	0.2	○			
小豆類	2	2			2.0 アメカ	【0.024(#)-0.30(#)(n=18) (グリーンピース)(米国)】
えんどう	2	2			2.0 アメカ	【米国グリーンピース、 Polebean参照】
そら豆	2	2			2.0 アメカ	【米国グリーンピース、 Polebean参照】
らっかせい	2	2				
その他の豆類	2	2			2.0 アメカ	【3.080(#),11.036(#) (Polebean)(米国)】
ばれいしょ	0.02	0.02		0.02		
さといも類(やつがしらを含む。)	0.05	0.02	申	0.02		<0.01,<0.01
かんしょ	0.05	0.02	申	0.02		<0.01,<0.01
やまいも(長いもをいう。)	0.05	0.02	申	0.02		<0.01,<0.01
こんにやくいも	0.02	0.02		0.02		
その他のいも類	0.02	0.02		0.02		
てんさい	0.02	0.02		0.02		
さとうきび	14	14		0.5	14 アメカ	【0.69(#)-12.04(#)(n=21) (とうもろこし茎葉)(米国)】
だいこん類(ラディッシュを含む。)	0.05	0.05	○	0.02		<0.01,<0.01
だいこん類(ラディッシュを含む。)	20	20	○	20		
かぶ類の根	0.2	0.2	○	0.02		0.02,0.03(\$)
かぶ類の葉	20	20	○	20		
西洋わさび	0.02	0.02		0.02		
クレソン	20	20		20		
はくさい	20	20	○	20		
キャベツ	4	4	○	2	4.0 アメカ	【0.033-1.1(n=10) (外葉あり)(米国)】
芽キャベツ	4	4		2	4.0 アメカ	【0.037-0.078(n=3) (外葉なし)(米国)】
ケール	20	20	○	20		【米国キャベツ、ブロッコ リー参照】
こまつな	20	20	○	20		
きょうな	20	20	○	20		
チンゲンサイ	11	11	○		11.0 アメカ	【1.2(#)-5.6(#)(n=8)(からし な)(米国)】
カリフラワー	4	4	○	2	4.0 アメカ	【米国キャベツ、ブロッコ リー参照】
ブロッコリー	4	4	○	2	4.0 アメカ	【0.12(#)-0.67(#)(n=9)(米 国)】
その他のあぶらな科野菜	20	20		20		
ごぼう	0.02	0.02		0.02		
サルシフィー	0.02	0.02		0.02		
アーティチョーク	4	4			4.0 アメカ	【米国キャベツ、ブロッコ リー参照】
チコリ	20	20		20		
エンダイブ	20	20		20		
しゅんぎく	20	20		20		
レタス(サラダ菜及びちしやを含む。)	20	20	○	20		【0.012(#)-2.4(#)(n=10) (外葉あり)(レタス)(米国)】
その他のきく科野菜	20	20		20		【0.043(#)-0.47(#)(n=3)(外 葉なし)(レタス)(米国)】
ねぎ(リーキを含む。)	2	2	○			【3.2(#)-6.2(#)(n=7)(リーフ タス)(米国)】
アスパラガス	13	13			13 アメカ	0.21,0.66(\$) 【米国レタス、リーフレタ ス、セロリ参照】

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm	
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm		
にんじん パースニップ パセリ	0.02 0.02 13	0.02 0.02 13		0.02 0.02		【0.99(#)-3.6(#)(n=7) (外葉あり)(米国) 【0.19(#)-2.5(#)(n=3) (外葉なし)(米国)】	
セロリ その他のせり科野菜	13 13	13 13		7 0.02	13 アメリカ		
トマト	0.7	0.7	○	0.6		【0.013(#)- 0.18(#)(n=11)(米国) 0.06, 0.26(\$)	
ピーマン なす その他のなす科野菜	1 0.7 20	1 0.7 20	○	0.6 0.6 20	1 EU		
きゅうり(ガーキンを含む。) かぼちゃ(スカッシュを含む。) しろうり すいか※1 メロン類果実※1 まくわうり※1 その他のうり科野菜	0.3 0.3 0.3 0.1 0.1 0.1 20	0.3 0.3 0.3 0.1 0.1 0.1 20	○	0.3 0.3 0.3 0.3 0.3 0.3 20		0.05, 0.07	
ほうれんそう オクラ 未成熟えんどう 未成熟いんげん えだまめ	20 0.6 0.7 0.5 1	20 0.6	申 申 ○	20 0.6		0.26(\$), 0.13 0.19, 0.14 0.14, 0.32(\$)	
マッシュルーム しいたけ その他のきのこ類	0.6 0.6 0.6	0.6 0.6 0.6		0.6 0.6 0.6			
その他の野菜	20	20		20			
みかん※2 なつみかんの果実全体 レモン オレンジ(ネーブルオレンジを含む。) グレープフルーツ ライム その他のかんきつ類果実	0.1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1	IT	0.5 0.5 0.5 0.5 0.5 0.5 0.5	1.4 1.4 1.4 1.4 1.4 1.4 1.4	アメリカ アメリカ アメリカ アメリカ アメリカ アメリカ アメリカ	【米国核果類、仁果類参照】 【米国核果類、仁果類参照】 【米国核果類、仁果類参照】 【米国核果類、仁果類参照】 【米国核果類、仁果類参照】 【米国核果類、仁果類参照】 【米国核果類、仁果類参照】
りんご 日本なし 西洋なし マルメロ びわ	1 1 1 1 0.3	1 1 1 1 0.3	○ ○ ○	0.4 0.4 0.4 0.4	1.2 1.2 1.2 1.2	アメリカ アメリカ アメリカ アメリカ	【0.010(#)- 0.23(#)(n=17)(米国)】 【米国西洋なし参照】 【0.016(#)- 0.13(#)(n=11)(米国)】 【米国りんご及び西洋なし 参照】
もも※3 ネクタリン あんず(アプリコットを含む。) すもも(ブルーベリーを含む。) うめ おうとう(チェリーを含む。)	0.4 4 4 4 1 1	0.4 4 4 4 1 1	○ ○ ○ ○ ○	1 1 1 1 1	4.0 4.0 4.0 4.0 4.0	アメリカ アメリカ アメリカ アメリカ アメリカ	【0.0639(#)-0.891(#) (n=23)(米国)】 【米国もも、すもも、おうとう 参照】 【米国もも、すもも、おうとう 参照】 【0.004(#)- 0.076(#)(n=17)(米国)】 【0.056(#)- 0.57(#)(n=12)(米国)】
いちご ラズベリー ブラックベリー ブルーベリー クランベリー ハックルベリー	1 2 2 3 3 3	1 1 1 1 1 1	○ IT IT IT IT IT	1 1 1 1 1 1	1.8 1.8 2.5 2.5 2.5	アメリカ アメリカ アメリカ アメリカ アメリカ	【0.0902(#)- 0.513(#)(n=6)(米国)】 【0.049(#), 0.436(#)(米国)】 【0.840(#)(米国)】 【0.324(#)(米国)】 【米国ブルーベリー、クラ ンベリー参照】

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm	
その他のベリー類果実	3	3		1	2.5 アメカ	【米国ブルーベリー、クランベリー参照】
ぶどう	2	2	○	1		0.16,0.51(\$)
かき	4	4			4.0 アメカ	【米国核果類、仁果類参照】
バナナ	4	4			4.0 アメカ	【米国核果類、仁果類参照】
パイナップル	2	2			2.0 アメカ	【米国核果類、仁果類参照】
アボカド	4	4			4.0 アメカ	【米国核果類、仁果類参照】
グアバ	2	2			1.5 アメカ	【米国核果類、仁果類参照】
マンゴー	4	4			4.0 アメカ	【米国核果類、仁果類参照】
パッションフルーツ	4	4			4.0 アメカ	【米国核果類、仁果類参照】
その他の果実	2	2			2.0 アメカ	【米国核果類、仁果類参照】
その他の果実	4	4		0.6		
ひまわりの種子	2		IT		2.0 アメカ	【0.030-0.82(n=6)(米国)】
ごまの種子	0.3	0.3				
べにばなの種子	2		IT		2.0 アメカ	【米国ひまわり、なたね参照】
綿実	0.3	0.3		0.3		
なたね	2	0.3	IT		2.0 アメカ	【0.14-1.0(n=6)(米国)】
その他のオイルシード	0.3	0.3				
ぎんなん	0.02			0.02		
くり	0.04	0.04		0.02		
ペカン	0.04	0.04		0.02		
アーモンド	0.04	0.04		0.02		
くるみ	0.04	0.04		0.02		
その他のナッツ類	0.04	0.04		0.02	0.04 アメカ	【0.003(#)-0.015(#)(n=6) (ペカン)(米国)】 【0.004(#)-0.008(#)(n=6) (アーモンド)(米国)】
茶	50	50	○			29.8,38.6(荒茶) 【0.098(#)-0.205(#)(n=4) (米国)】
コーヒー豆	0.4	0.4			0.4 アメカ	【米国アーモンド及びペカン参照】
カカオ豆 ^{※4}	0.08	0.08			0.08 アメカ	【0.11(#)-7.9(#)(n=25) (アルファルファ)(米国)】
ホップ	90	90			90 アメカ	
その他のスパイス	14	14			14 アメカ	【米国アルファルファ参照】
その他のハーブ	25	25		15	25 アメカ	【米国アルファルファ参照】
牛の筋肉	0.2	0.05		0.2		
豚の筋肉	0.2	0.05		0.2		
その他の陸棲哺乳類に属する動物の筋肉	0.2	0.05		0.2		
牛の脂肪	0.3	0.3		0.2	0.3 アメカ	推:0.12
豚の脂肪	0.3	0.3		0.2	0.3 アメカ	(牛の脂肪参照)
その他の陸棲哺乳類に属する動物の脂肪	0.3	0.3		0.2	0.3 アメカ	(牛の脂肪参照)
牛の肝臓	0.3	0.3		0.2	0.3 アメカ	推:0.10
豚の肝臓	0.3	0.3		0.2	0.3 アメカ	(牛の肝臓参照)
その他の陸棲哺乳類に属する動物の肝臓	0.3	0.3		0.2	0.3 アメカ	(牛の肝臓参照)
牛の腎臓	0.2	0.2		0.2	0.2 アメカ	推:0.07
豚の腎臓	0.2	0.2		0.2	0.2 アメカ	(牛の腎臓参照)
その他の陸棲哺乳類に属する動物の腎臓	0.2	0.2		0.2	0.2 アメカ	(牛の腎臓参照)
牛の食用部分	0.2	0.2		0.2	0.2 アメカ	(牛の肝臓参照)
豚の食用部分	0.2	0.2		0.2	0.2 アメカ	(牛の肝臓参照)
その他の陸棲哺乳類に属する動物の食用部分	0.2	0.2		0.2	0.2 アメカ	(牛の肝臓参照)
乳	0.05	0.05		0.05	0.05 アメカ	推:0.01
鶏の筋肉	0.02	0.02		0.01	0.02 アメカ	推:<0.01
その他の家禽の筋肉	0.02	0.02		0.01	0.02 アメカ	(鶏の筋肉参照)
鶏の脂肪	0.01	0.01		0.01	0.01 アメカ	推:<0.01
その他の家禽の脂肪	0.01	0.01		0.01	0.01 アメカ	(鶏の脂肪参照)
鶏の肝臓	0.02	0.02		0.01	0.02 アメカ	推:<0.01
その他の家禽の肝臓	0.02	0.02		0.01	0.02 アメカ	(鶏の肝臓参照)

食品名	基準値案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm	
鶏の腎臓	0.02	0.02		0.01	0.02	アメリカ (鶏の肝臓参照)
その他の家さんの腎臓	0.02	0.02		0.01	0.02	アメリカ (鶏の肝臓参照)
鶏の食用部分	0.02	0.02		0.01	0.02	アメリカ (鶏の肝臓参照)
その他の家さんの食用部分	0.02	0.02		0.01	0.02	アメリカ (鶏の肝臓参照)
鶏の卵	0.2	0.2		0.1	0.2	アメリカ 推:0.09
その他の家さんの卵	0.2	0.2		0.1	0.2	アメリカ (鶏の卵参照)
魚介類	0.05	0.05				推:0.05
とうがらし(乾燥させたもの)	5	5		5		

本基準(暫定基準以外の基準)を見直す基準値案については、太枠線で囲んで示した。

「登録有無」の欄に「申」の記載があるものは、農薬の登録申請等の基準値設定依頼がなされたものであることを示している。

(#)これらの作物残留試験は、申請の範囲内で試験が行われていない。

(\$)これらの作物残留試験は、試験成績のばらつきを考慮し、この印をつけた残留値を基準値策定の根拠とした。

「作物残留試験」欄に「推」の記載のあるものは、推定残留量であることを示している。

※1すいか、メロン類果実及びまくわうりにおいては、国際基準の残留基準に加工係数0.3(可食部係数。果実全体の残留量に対する果肉の残留量の比)を乗じた値を基準値案とした。

※2みかんにおいては、国際基準の残留基準に加工係数0.24(可食部係数。果実全体の残留量に対する果肉の残留量の比)を乗じた値を基準値案とした。

※3ももにおいては、米国の残留基準に国内残留試験より算出した加工係数0.1(可食部係数。果実全体の残留量に対する果肉の残留量の比)を乗じた値を基準値案とした。

※4カカオ豆の基準値については、外皮を含まないものに適用するものとする。

クロラントラニプロール推定摂取量 (単位: $\mu\text{g}/\text{人}/\text{day}$)

食品名	基準値案 (ppm)	国民平均 TMDI	幼小児 (1~6歳) TMDI	妊婦 TMDI	高齢者 (65歳以上) TMDI
米 (玄米をいう。)	0.05	9.3	4.9	7.0	9.4
小麦	0.02	2.3	1.6	2.5	1.7
大麦	0.02	0.1	0.0	0.0	0.1
ライ麦	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
とうもろこし	0.6	1.5	2.6	1.6	0.5
そば	0.02	0.1	0.0	0.0	0.1
その他の穀類	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
大豆	0.2	11.2	6.7	9.1	11.8
小豆類	2	2.8	1.0	0.2	5.4
えんどう	2	0.6	0.2	0.6	0.8
そら豆	2	0.4	0.2	0.2	0.8
らっかせい	2	1.0	0.6	0.4	1.2
その他の豆類	2	0.2	0.2	0.2	0.2
ばれいしょ	0.02	0.7	0.4	0.8	0.5
さといも類 (やつがしらを含む。)	0.05	0.6	0.3	0.4	0.9
かんしょ	0.05	0.8	0.9	0.7	0.8
やまいも (長いもをいう。)	0.05	0.1	0.0	0.1	0.2
こんにゃくいも	0.02	0.3	0.1	0.2	0.3
その他のいも類	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
てんさい	0.02	0.1	0.1	0.1	0.1
さとうきび	14	187.6	158.2	144.2	169.4
だいこん類 (ラディッシュを含む。) の根	0.05	2.3	0.9	1.4	2.9
だいこん類 (ラディッシュを含む。) の葉	20	44.0	10.0	18.0	68.0
かぶ類の根	0.2	0.5	0.1	0.1	0.8
かぶ類の葉	20	10.0	2.0	6.0	22.0
西洋わさび	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
クレソン	20	2.0	2.0	2.0	2.0
はくさい	20	588.0	206.0	438.0	634.0
キャベツ	4	91.2	39.2	91.6	79.6
芽キャベツ	4	0.4	0.4	0.4	0.4
ケール	20	2.0	2.0	2.0	2.0
こまつな	20	86.0	40.0	32.0	118.0
きょうな	20	6.0	2.0	2.0	6.0
チンゲンサイ	11	15.4	3.3	11.0	20.9
カリフラワー	4	1.6	0.4	0.4	1.6
ブロッコリー	4	18.0	11.2	18.8	16.4
その他のあぶらな科野菜	20	42.0	6.0	4.0	62.0
ごぼう	0.02	0.1	0.0	0.0	0.1
サルシフィー	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
アーティチョーク	4	0.4	0.4	0.4	0.4
チコリ	20	2.0	2.0	2.0	2.0
エンダイブ	20	2.0	2.0	2.0	2.0
しゅんぎく	20	50.0	12.0	38.0	74.0
レタス (サラダ菜及びちしゃを含む。)	20	122.0	50.0	128.0	84.0
その他のきく科野菜	20	8.0	2.0	10.0	14.0
ねぎ (リーキを含む。)	2	22.6	9.0	16.4	27.0
アスパラガス	13	11.7	3.9	5.2	9.1
にんじん	0.02	0.5	0.3	0.5	0.4
パースニップ	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
パセリ	13	1.3	1.3	1.3	1.3
セロリ	13	5.2	1.3	3.9	5.2
その他のせり科野菜	13	1.3	1.3	1.3	3.9
トマト	0.7	17.0	11.8	17.2	13.2
ピーマン	1	4.4	2.0	1.9	3.7
なす	0.7	2.8	0.6	2.3	4.0
その他のなす科野菜	20	4.0	2.0	2.0	6.0

食品名	基準値案 (ppm)	国民平均 TMDI	幼小児 (1~6歳) TMDI	妊婦 TMDI	高齢者 (65歳以上) TMDI
きゅうり (ガーキンを含む。)	0.3	4.9	2.5	3.0	5.0
かぼちゃ (スカッシュを含む。)	0.3	2.8	1.7	2.1	3.5
しろうり	0.3	0.1	0.0	0.0	0.2
すいか	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
メロン類果実	0.1	0.0	0.0	0.01	0.0
まくわうり	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のうり科野菜	20	10.0	2.0	46.0	14.0
ほうれんそう	20	374.0	202.0	348.0	434.0
オクラ	0.6	0.2	0.1	0.1	0.2
未成熟えんどう	0.7	0.4	0.1	0.5	0.4
未成熟いんげん	0.5	1.0	0.6	0.9	0.9
えだまめ	1	0.1	0.1	0.1	0.1
マッシュルーム	0.6	0.2	0.1	0.4	0.1
しいたけ	0.6	2.8	1.1	2.3	2.9
その他のきのこ類	0.6	5.9	2.4	4.6	5.9
その他の野菜	20	252.0	194.0	192.0	244.0
みかん	0.1	4.2	3.5	4.6	4.3
なつみかんの果実全体	1	0.1	0.1	0.1	0.1
レモン	1	0.3	0.2	0.3	0.3
オレンジ (ネーブルオレンジを含む。)	1	0.4	0.6	0.8	0.2
グレープフルーツ	1	1.2	0.4	2.1	0.8
ライム	1	0.1	0.1	0.1	0.1
その他のかんきつ類果実	1	0.4	0.1	0.1	0.6
りんご	1	35.3	36.2	30.0	35.6
日本なし	1	5.1	4.4	5.3	5.1
西洋なし	1	0.10	0.10	0.10	0.10
マルメロ	1	0.1	0.1	0.1	0.1
びわ	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0
もも	0.4	0.2	0.3	1.6	0.0
ネクタリン	4	0.4	0.4	0.4	0.4
あんず (アプリコットを含む。)	4	0.4	0.4	0.4	0.4
すもも (プルーンを含む。)	4	0.8	0.4	5.6	0.8
うめ	1	1.1	0.3	1.4	1.6
おうとう (チェリーを含む。)	1	0.1	0.1	0.1	0.1
いちじく	1	0.3	0.4	0.1	0.1
ラズベリー	2	0.2	0.2	0.2	0.2
ブラックベリー	2	0.2	0.2	0.2	0.2
ブルーベリー	3	0.3	0.3	0.3	0.3
クランベリー	3	0.3	0.3	0.3	0.3
ハuckleベリー	3	0.3	0.3	0.3	0.3
その他のベリー類果実	3	0.3	0.3	0.3	0.3
ぶどう	2	11.6	8.8	3.2	7.6
かき	4	125.6	32.0	86.0	198.4
バナナ	4	50.4	45.2	34.8	70.8
パパイヤ	2	0.2	0.2	0.2	0.2
アボカド	4	0.8	0.4	0.4	0.8
パイナップル	2	1.6	2.0	0.2	1.0
グアバ	4	0.4	0.4	0.4	0.4
マンゴー	4	0.4	0.4	0.4	0.4
パッションフルーツ	2	0.2	0.2	0.2	0.2
その他の果実	4	15.6	23.6	5.6	6.8
ひまわりの種子	2	0.2	0.2	0.2	0.2
ごまの種子	0.3	0.3	0.2	0.1	0.4
べにばなの種子	2	0.2	0.2	0.2	0.2
綿実	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0
なたね	2	16.8	10.0	16.4	10.6
その他のオイルシード	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0
ぎんなん	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
くり	0.04	0.0	0.1	0.0	0.0
ペカン	0.04	0.0	0.0	0.0	0.0
アーモンド	0.04	0.0	0.0	0.0	0.0
くるみ	0.04	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のナッツ類	0.04	0.0	0.0	0.0	0.0

食品名	基準値案 (ppm)	国民平均 TMDI	幼小児 (1~6歳) TMDI	妊婦 TMDI	高齢者 (65歳以上) TMDI
茶	50	150.0	70.0	175.0	215.0
コーヒー豆	0.4	1.0	0.0	0.6	0.6
カカオ豆	0.08	0.0	0.0	0.0	0.0
ホップ	90	9.0	9.0	9.0	9.0
その他のスパイス	14	1.4	1.4	1.4	1.4
その他のハーブ	25	2.5	2.5	2.5	2.5
陸棲哺乳類の肉類	0.3	17.3	9.9	18.2	17.3
陸棲哺乳類の乳類	0.05	7.1	9.9	9.2	7.1
家禽の肉類	0.02	0.4	0.4	0.3	0.4
家禽の卵類	0.2	8.0	5.9	8.0	8.0
魚介類	0.05	4.7	2.1	4.7	4.7
計		2516.8	1297.2	2060.6	2818.9
ADI比 (%)		18.2	31.6	14.3	20.0

高齢者については畜水産物の摂取量データがないため、妊婦については家きんの卵類及び水産物の摂取量データがないため、国民平均の摂取量を参考とした。

TMDI：理論最大1日摂取量 (Theoretical Maximum Daily Intake)

(参考)

これまでの経緯

平成20年	3月10日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準設定依頼(新規:水稲、りんご等)
平成20年	3月25日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成20年	7月23日	インポートトレランス申請(ばれいしょ、ほうれんそう等)
平成20年	10月9日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成21年	7月22日	初回農薬登録
平成21年	9月28日	残留農薬基準告示
平成22年	7月12日	農林水産省から厚生労働省へ適用拡大申請に係る連絡及び基準設定依頼(適用拡大:だいこん、かぶ、なし、あんず、かき)
平成22年	7月14日	インポートトレランス申請(米、かんきつ類、魚介類等)
平成22年	8月11日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成23年	6月16日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成24年	12月28日	残留農薬基準告示
平成24年	4月16日	インポートトレランス申請(みかん、ラズベリー等)
平成24年	5月9日	農林水産省から厚生労働省へ適用拡大申請に係る連絡及び基準設定依頼(適用拡大:さといも、やまのいも等)
平成24年	7月18日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成24年	10月24日	農林水産省から厚生労働省へ適用拡大申請に係る連絡及び基準設定依頼(適用拡大:かんしょ)
平成24年	10月31日	インポートトレランス申請(ひまわり(種子)、なたね等)
平成24年	11月12日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成25年	3月18日	薬事・食品衛生審議会へ諮問
平成25年	3月26日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

● 薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

[委員]

石井	里枝	埼玉県衛生研究所水・食品担当主任研究員
延東	真	東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科教授
○大野	泰雄	国立医薬品食品衛生研究所長
尾崎	博	東京大学大学院農学生命科学研究科獣医薬理学教室教授
斉藤	貢一	星薬科大学薬品分析化学教室准教授
佐藤	清	一般財団法人残留農薬研究所業務執行理事・化学部長
高橋	美幸	農業・食品産業技術総合研究機構動物衛生研究所上席研究員
永山	敏廣	東京都健康安全研究センター食品化学部長
宮井	俊一	一般社団法人日本植物防疫協会技術顧問
山内	明子	日本生活協同組合連合会執行役員組織推進本部長
由田	克士	大阪市立大学大学院生活科学研究科公衆栄養学教授
吉成	浩一	東北大学大学院薬学研究科薬物動態学分野准教授
鰐淵	英機	大阪市立大学大学院医学研究科都市環境病理学教授

(○：部会長)

答申(案)

クロラントラニプロール

食品名	残留基準値
	ppm
米(玄米をいう。)	0.05
小麦	0.02
大麦	0.02
ライ麦	0.02
とうもろこし	0.6
そば	0.02
その他の穀類 ^{注1)}	0.02
大豆	0.2
小豆類 ^{注2)}	2
えんどう	2
そら豆	2
らっかせい	2
その他の豆類 ^{注3)}	2
ばれいしょ	0.02
さといも類(やつがしらを含む。)	0.05
かんしょ	0.05
やまいも(長いもをいう。)	0.05
こんにやくいも	0.02
その他のいも類 ^{注4)}	0.02
てんさい	0.02
さとうきび	14
だいこん類(ラディッシュを含む。)の根	0.05
だいこん類(ラディッシュを含む。)の葉	20
かぶ類の根	0.2
かぶ類の葉	20
西洋わさび	0.02
クレソン	20
はくさい	20
キャベツ	4
芽キャベツ	4
ケール	20
こまつな	20
きょうな	20
チンゲンサイ	11
カリフラワー	4
ブロッコリー	4
その他のあぶらな科野菜 ^{注5)}	20
ごぼう	0.02
サルシフィー	0.02
アーティチョーク	4
チコリ	20
エンダイブ	20
しゅんぎく	20
レタス(サラダ菜及びちしやを含む。)	20
その他のきく科野菜 ^{注6)}	20
ねぎ(リーキを含む。)	2
アスパラガス	13
にんじん	0.02
パースニップ	0.02
パセリ	13
セロリ	13
その他のせり科野菜 ^{注7)}	13

注1)「その他の穀類」とは、穀類のうち、米、小麦、大麦、ライ麦、とうもろこし及びそば以外のものをいう。

注2)いんげん、ささげ、サルタニ豆、サルタビア豆、バター豆、ペギア豆、ホホワイト豆、ライマ豆及びレンズを含む。

注3)「その他の豆類」とは、豆類のうち、大豆、小豆類、えんどう、そら豆、らっかせい及びスパイス以外のものをいう。

注4)「その他のいも類」とは、いも類のうち、ばれいしょ、さといも類、かんしょ、やまいも及びこんにやくいも以外のものをいう。

注5)「その他のあぶらな科野菜」とは、あぶらな科野菜のうち、だいこん類の根、だいこん類の葉、かぶ類の根、かぶ類の葉、西洋わさび、クレソン、はくさい、キャベツ、芽キャベツ、ケール、こまつな、きょうな、チンゲンサイ、カリフラワー、ブロッコリー及びハーブ以外のものをいう。

注6)「その他のきく科野菜」とは、きく科野菜のうち、ごぼう、サルシフィー、アーティチョーク、チコリ、エンダイブ、しゅんぎく、レタス及びハーブ以外のものをいう。

注7)「その他のせり科野菜」とは、せり科野菜のうち、にんじん、パースニップ、パセリ、セロリ、みつば、スパイス及びハーブ以外のものをいう。

クロラントラニプロール

食品名	残留基準値
	ppm
トマト	0.7
ピーマン	1
なす	0.7
その他のなす科野菜 ^{注8)}	20
きゅうり(ガーキンを含む。)	0.3
かぼちゃ(スカッシュを含む。)	0.3
しろうり	0.3
すいか	0.1
メロン類果実	0.1
まくわうり	0.1
その他のうり科野菜 ^{注9)}	20
ほうれんそう	20
オクラ	0.6
未成熟えんどう	0.7
未成熟いんげん	0.5
えだまめ	1
マッシュルーム	0.6
しいたけ	0.6
その他のきのこ類 ^{注10)}	0.6
その他の野菜 ^{注11)}	20
みかん	0.1
なつみかんの果実全体	1
レモン	1
オレンジ(ネーブルオレンジを含む。)	1
グレープフルーツ	1
ライム	1
その他のかんきつ類果実 ^{注12)}	1
りんご	1
日本なし	1
西洋なし	1
マルメロ	1
びわ	0.3
もも	0.4
ネクタリン	4
あんず(アプリコットを含む。)	4
すもも(プルーンを含む。)	4
うめ	1
おうとう(チェリーを含む。)	1
いちご	1
ラズベリー	2
ブラックベリー	2
ブルーベリー	3
クランベリー	3
ハックルベリー	3
その他のベリー類果実 ^{注13)}	3
ぶどう	2
かき	4
バナナ	4
パパイヤ	2
アボカド	4
パイナップル	2
グアバ	4
マンゴー	4
パッションフルーツ	2
その他の果実 ^{注14)}	4

注8)「その他のなす科野菜」とは、なす科野菜のうち、トマト、ピーマン及びなす以外のものをいう。

注9)「その他のうり科野菜」とは、うり科野菜のうち、きゅうり、かぼちゃ、しろうり、すいか、メロン類果実及びまくわうり以外のものをいう。

注10)「その他のきのこ類」とは、きのこ類のうち、マッシュルーム及びしいたけ以外のものをいう。

注11)「その他の野菜」とは、野菜のうち、いも類、てんさい、さとうきび、あぶらな科野菜、きく科野菜、ゆり科野菜、せり科野菜、なす科野菜、うり科野菜、ほうれんそう、たけのこ、オクラ、しょうが、未成熟えんどう、未成熟いんげん、えだまめ、きのこ類、スパイス及びハーブ以外のものをいう。

注12)「その他のかんきつ類果実」とは、かんきつ類果実のうち、みかん、なつみかん、なつみかんの外果皮、なつみかんの果実全体、レモン、オレンジ、グレープフルーツ、ライム及びスパイス以外のものをいう。

注13)「その他のベリー類果実」とは、ベリー類果実のうち、いちご、ラズベリー、ブラックベリー、ブルーベリー、クランベリー及びハックルベリー以外のものをいう。

注14)「その他の果実」とは、果実のうち、かんきつ類果実、りんご、日本なし、西洋なし、マルメロ、びわ、もも、ネクタリン、あんず、すもも、うめ、おうとう、ベリー類果実、ぶどう、かき、バナナ、キウイ、パパイヤ、アボカド、パイナップル、グアバ、マンゴー、パッションフルーツ、なつめやし及びスパイス以外のものをいう。

クロラントラニリプロール

食品名	残留基準値
	ppm
ひまわりの種子	2
ごまの種子	0.3
べにばなの種子	2
綿実	0.3
なたね	2
その他のオイルシード ^{注15)}	0.3
ぎんなん	0.02
くり	0.04
ペカン	0.04
アーモンド	0.04
くるみ	0.04
その他のナッツ類 ^{注16)}	0.04
茶	50
コーヒー豆	0.4
カカオ豆(外皮を含まない。)	0.08
ホップ	90
その他のスパイス ^{注17)}	14
その他のハーブ ^{注18)}	25
牛の筋肉	0.2
豚の筋肉	0.2
その他の陸棲哺乳類に属する動物 ^{注19)} の筋肉	0.2
牛の脂肪	0.3
豚の脂肪	0.3
その他の陸棲哺乳類に属する動物の脂肪	0.3
牛の肝臓	0.3
豚の肝臓	0.3
その他の陸棲哺乳類に属する動物の肝臓	0.3
牛の腎臓	0.2
豚の腎臓	0.2
その他の陸棲哺乳類に属する動物の腎臓	0.2
牛の食用部分 ^{注20)}	0.2
豚の食用部分	0.2
その他の陸棲哺乳類に属する動物の食用部分	0.2
乳	0.05
鶏の筋肉	0.02
その他の家きん ^{注21)} の筋肉	0.02
鶏の脂肪	0.01
その他の家きんの脂肪	0.01
鶏の肝臓	0.02
その他の家きんの肝臓	0.02
鶏の腎臓	0.02
その他の家きんの腎臓	0.02
鶏の食用部分	0.02
その他の家きんの食用部分	0.02
鶏の卵	0.2
その他の家きんの卵	0.2
魚介類	0.05
とうがらし(乾燥させたもの)	5

注15)「その他のオイルシード」とは、オイルシードのうち、ひまわりの種子、ごまの種子、べにばなの種子、綿実、なたね及びスパイス以外のものをいう。

注16)「その他のナッツ類」とは、ナッツ類のうち、ぎんなん、くり、ペカン、アーモンド及びくるみ以外のものをいう。

注17)「その他のスパイス」とは、スパイスのうち、西洋わさび、わさびの根茎、にんにく、とうがらし、パプリカ、しょうが、レモンの果皮、オレンジの果皮、ゆずの果皮及びごまの種子以外のものをいう。

注18)「その他のハーブ」とは、ハーブのうち、クレンソ、にら、パセリの茎、パセリの葉、セロリの茎及びセロリの葉以外のものをいう。

注19)「その他の陸棲哺乳類に属する動物」とは、陸棲哺乳類に属する動物のうち、牛及び豚以外のものをいう。

注20)「食用部分」とは、食用に供される部分のうち、筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓以外の部分をいう。

注21)「その他の家きん」とは、家きんのうち、鶏以外のものをいう。